



横山善
三
庵



■ 特
集

開山忌

育英会報恩供養
第二十五回 育英会辞令交付式





平成二十四年二月十日、釈迦殿で開山忌と横
浜善光寺留学僧育英会の報恩供養、並びに第二
十五回辞令交付式が執り行われ、関係のご寺院、
檀信徒総代、ゆかりの方々が参集されました。
新しく育英生に採用されたのはアメリカ人出
家僧のフランス・幸雲氏（39）で、駒澤大学へ
の派遣となります。現在、熊本県に在住し、南
北朝期に活躍した大智禪師の研究に取り組んで
いる気鋭の僧です。

開山・椋庵白純大和尚の開山忌法要は、金沢
市の大乘寺ご住職、育英会名誉顧問の東隆眞老
師に導師をお勤めいただきました。

法要の中で、東老師は「開山老大和尚は日本
仏教界稀有の大先達なり」と椋庵白純大和尚の
遺徳を称え、また二世中興大圓武志大和尚につ
いて「善光寺海外留学僧育英会の創設者にして
初代理事長なり。我と駒沢大学、大学院の同窓
にして最上の親友なり」と追慕の言葉を捧げら



れました。

続いて横浜善光寺留学僧育英会の辞令交付式が行われ、育英会理事の安藤嘉則老師が選考経過を報告。日本で出家得度したフランズ氏は、大智禪師が開創した熊本の聖護寺で長く安居修行し、米国・アンカレッジで参禅指導した道心の人と紹介されました。

黒田博志住職の導師により育英会報恩供養が営まれた後、黒田住職からフランズ氏に辞令と記念品が授与され、参列の僧侶、檀信徒の皆さまからの温かい拍手に包まれました。

式典の後、東老師は「育英会の原点は、大圓武志大和尚が、仏教を勉強する国内外の若い人の力になればと、檀信徒の方々から一日一食を捧げていただいたことにあります。しっかりと仏教を身につけ、人々の幸せに尽くしてもらいたいとの誓願が元になっています。そのことを忘れないでいただきたい」と力強く激励されま



フランズ幸雲師（右）



最後に、黒田住職は「人のために尽くせ、尽くして尽くして尽くし抜け、と何かにつけて先代から叱られました。そのことを心に置いて、これからも精進して参ります」と決意とともに現在の心境を述べて感謝の言葉としました。



禪マウンテンセンター法堂
先代方丈(左)と東老師(右)



法語

梅花馥郁白純身

父子相逢武志春

誓願尤堅禰法晁

慈光普照德風新

謹惟相值

当寺開山栴庵白純老大和尚

二世中興大圓武志大和尚 報恩法会之辰

惟時 当寺堂頭博志老師

拜請 本寺大田原市大田山

光真寺三十七世俊雄老大師

欲嚴修開山忌 偶本寺老大師臥病床 依堂頭老師

之命 野衲 寄為其名代宰此法会

疇昔 即昭和二十九年當時 野衲

修嶽山僧堂裡一雲水首座寮辦事配役

此時在白純老大和尚本山副監院要職 屢々恭銘茶

銘菓之御愛顧 雖去今五十八年之往昔 尚難忘

開山老大和尚者 實我宗門 日本仏教会希有大先

達也



故前角博雄老師のご家族と共に

建立新寺四箇寺 復興末寺四箇寺 設立学校幼稚園
 全日本仏教会事務総長 大本山總持寺顧問
 曹洞宗宗議會議員等々

周知事実 無枚茶暇 人天衆前菩薩化現

又二世中興武志大和尚者 創設善光寺留学僧育英

会 就任初代理事長 与我大学 大学院 同学同

窓 最上親友 默契握手 破顔微笑 皮肉尚暖

正与麼時 如何瞻仰 開山老大和尚 二世中興大

和尚真位

唶

成寿山頭 春二月

善光寺庭 瑞祥鮮

慈悲容納

平成二十四年二月十日

横浜市 善光寺 開山忌

焼香比丘 加賀 大乘寺

東 隆眞 謹書

授衣式



住職より総代各位へ感謝の意を込めて
絡子の授与式が行われました。

